



HPで写真集公開中 スポーツ新報

市大会会長)が23、24の両日、和歌山ビッグホールで開催され、岩手県から沖縄県までの中学校、クラブ合わせて119チームの精鋭が集い、熱い戦いが繰り広げられた。競技に先立ち、選手を代表して地元雄湊クラブの寒川慎也選手が、今まで支えてくれた多くの人への感謝の言葉とともに「仲間を自分を信じ全力で戦う」と力強く宣誓。和歌山のスポーツに新たな感動のページが印された。

みんな柔道が大好き!

石川選手を迎え健心館畠中道場

和歌山市の健心館(畠中道場(畠中耕作館長)は23、24の両日、女子柔道で2回の講道館杯優勝(2011年、15年)を誇る石川慈(めぐみ)選手を迎え、子どもたちが指導を受けた。

愛知県名古屋出身で現在コマツに所属する石川選手は、57kg級でユニバーシアード(2011年)やアジア選手権(2013年)で金メダルに輝くなど、

和歌山の子どもたちとの練習を提案、石川選手にとっては、以前からの希望でもあり、道場では早速準備運動や基本練習に汗を流した。

高濱師範は「努力を諦めたら、チャン스는来ない。勝つためには相手を崩して、技をかける事だが、基本は全て打ち込みだ。この練習量が全てを決める」と練習の大切さを述べた。

石川選手が相手になり、子どもも打ち込み練習を行い、みんな積極的に一生懸命だった。

石川選手は「みんなかわいくて、元気いっぱい。柔道が好きで、腫がきりきり輝いていました。私も子どもたちにパワーをもらいました」と笑みがこぼれていた。



石川選手が相手に打ち込みの手本を示す

ビッグホール



きびきびとした動きで演技を

第69回和歌山市中学校夏季総体バレーボールの部が17、18の両日、日進中学校体育館などで行われ、男子は明和、女子は西和・紀伊の合同が優勝した。

明和
和歌山